

山はなは 広報

37年12月25日

発行所
 堀 町 役 場
 編 集 課
 庶 務

みんなで
 明るいお正月を
 才末たすけあい
 ご協力下さい

第 14 号

奥地に明るい国の手

公共施設に融資のみち

まず入山の寄宿舎決まる

最近、国の経済発展がめざましい一方、辺地（不便の地域）においては、きわめて低い生活水準におかれている人たちが少なくありません。このようなことから、国では、辺地の人たちの福祉向上をはかる目的で、辺地に対する公共的な施設整備には、財政的援助をするとして、「辺地に係る公共的施設の総合整備に関する財政上の特別措置に関する法律」という長い題名の法律をつくりました。これは町が公共的施設の整備を行なう際、国が必要経費の八十程度融資をし、更にこの借入金の返済に当っては、五十七を地方交付税によって援助交付するという内容のものであります。

堀町では、この辺地に真名畑 入山、片貝、矢塚、那倉の五地域が該当しますが、三十七年度事業として、入山、矢塚の中学校寄宿舎建設を計画し、国に対して、申請をしました。

このうち入山地区の中学校寄宿舎が、二百十萬円の事業費に對し、二百萬円の融資がまきり



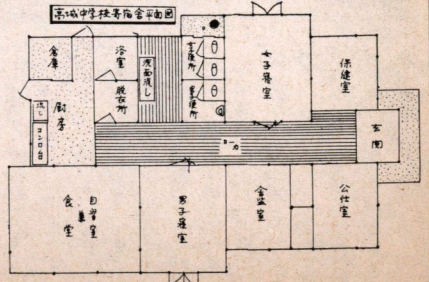
幸な子供たちのために「辺地対策事業」として、植田地内に中学校の寄宿舎を建築し、今後の人づくりに貢献しようと計画されたわけです。

この計画までには、生活費のことなどいろいろな問題があるため、何回か父兄と話し合いを進めてきましたが、地域の人たちも、この必要性を感じ、協力することになったので実現の運びになったものです。

このほか、各辺地とも通信施設の問題、道路交通の問題、あるいは電気導入の問題など、まだまだ近代文化にはほど遠い日常生活を送っている現状にありますので、町ではせつかくの恩典を十分に活用しようと、今後五力年間に約五千七百萬円の事業を予定しております。



写真・入山分校の教室は、電気もなく手ツボケだが桜の花咲くころは、こども別れることになる。



このうち、どの程度が国の認可になるかわかりませんが、一つでも多く実施され、不便な地に生活する人たちに、暖かい日ざしがさし込むよう期待したいものです。

二十五日 クリスマス もに分担して外まわりまで片
 二十八日 官庁御用納 つけましよう。
 め(役場は二十九日 ☆一酸化炭素の中毒に注意。
 から正月三日まで休 炭火でへやを温めているとき
 みます) は、和室なら一時間、洋室なら
 三十一日 年越し 三十分おきに窓を開
 除夜の鐘 き、空気を入れ替えま
 しょう。



☆せんたくものの総 仕上げ。敷布、カ
 バリー類をつけ替え、
 ワイシャツ類にもア
 イロンをかけておきましょう
 ☆子供に、厚着をさせないよ
 うにしましょう。おとなより
 ハタ着一枚ぐらい薄着でよい
 ☆掃除は、一部分ずつ、子ど
 しまししょう。

☆これからは、カゼ、
 インフルエンザ、シン
 テリヤ、肺炎など呼吸
 器系の病気がめだつて
 きます。じゆうぶんな栄養と
 をつけましよう。

☆年末年始の準備は、早めに

久慈川橋待望の起工 完成は3年後



写真・久慈川橋起工式

第六回臨時会開く

こし第六回の臨時町議会は去る十一月二十七日招集されました。この臨時会は、一面掲載のように、高城中学校寄宿舎建設を中心に審議するため招集されました。

議案のおもな とこでは—— ▽入山辺地に かかる寄宿 舎施設の整備について ▽折電開拓道路第二期工 事の請負契約について 東白建設と請負契約が結ばれ ることになった。この道路は、 延長約千三百メートル。巾が 三メートル。請負金額は百八十 九万円である。

▽百二十万円の追加予算
一般会計予算内部のそのま
中心に、百二十万円余の予算が
追加され、総額で一億三千二百
七十九万円となった。
この支出にあてる財源は、公
営住宅建築のための追加借入
れ金五十万円・寄宿舎建築のた
めの借り入れ
金二百万円な
どです。支出
の方では、議会費に十六万円。
教育費に寄宿舎建設、給食施設
費など二百七十八万円し尿処理
場建設のための町負担金百二十
九万円などで、各科目のそのま
で百二十万円余の追加となりま
した。なお、当日は議員協議会
も開き、午後四時四十分まで慎
重審議されました。

植田

と矢祭村中石井を
結ぶ久慈川橋の起
工式は、去る三日、北風が吹き
抜ける現地で行なわれました。
新しい橋は、「名物」つり橋
のすぐ上流に架かるもので、長
さ九十六メートル、巾六・五メ
ートルの大きな永久橋で完成は
昭和三十九年三月の予定で、三
九年事業。

これが完成するとつり橋は、
四十年來の長いつとめを果し、
その姿を消して行くことになっ
ていきます。

鈴木泰芳氏辞任

後任に鈴木晋氏

教育委員

教育委員長鈴木泰芳さんは、か
らだの具合がわるく、職にたえ
ないとして、診断書を添え、辞
職願を出されていましたが、十
一月三十日付でやめられまし
た。

後任には、真名畑の鈴木晋さ
ん(40)が、十一月の臨時議
会で万場の同意を得、十二月一日
付で任命されました。
鈴木 晋さんは、きよ年真名畑

この事業は、県が主体となり
ますが、さきに関係地元の人た
ちで、「久慈川橋架設工事期成
同盟会」をつくり、町・柳倉土
木事務所と一体となり、県当局
や建設省などに再三お願いし、
ようやく着工のはこびになった
ものです。それだけに、クワを
入れる地元の人たちには、喜び
をかしく切れない、といった表
情が見られました。
今年度は取付け道路だけで、
この分の請負は、緑川金一郎氏
となつてゐる。

新しい民生 委員きまる

総務に木村文江さん

民生委員は、「民生委員法」
という法律により、全国の市町
村におかれていますが、十一月
一ばいで、三年の任期がすんだ
ので、十二月一日、一せいに改
選されました。

民生委員は、生活に困つた家
庭、非行少年の保護指導などに
あたりますが、町では、次の三
十三人が厚生大臣から委嘱され
三年間活動されることになりま
した。

なお、総務には木村文江さん
(嬢)が、副総務には佐藤義光
さん(川上)がそれぞれ互選さ
れました。

あの職場 この職場

- ★鈴木茂芳(東河内) 吉田 広
- (同) 青砥昌寿(西河内) 佐藤 岐
- 恒光(堀越) 佐藤タネ子(常世 郎(那倉)小峰惣次(同)小峰
- 北野) 近藤春雄(同) 荒川ミツ
- (常世中野) 木村文江(嬢) 大
- 細ハルキ(同) 菊池留次郎(同)
- 穂積 亨(同) 白坂 好(上波
- 井) 菊池勝子(板庭) 佐藤義光
- (川上) 金沢幸雄(中塚) 深谷
- ミツ(川上) 石井義康(同) 鈴
- 木柴四郎(山形) 大森 博(湯
- 八幡吉寿(片貝) 武 仁
- 郎(那倉) 小峰惣次(同) 小峰
- ミチ(同) 鈴木昭男(大蔵) 星
- ハナ(山形) 松本司郎(田代)
- 戸井田左石民(台宿) 福原 茂
- (同) 青砥タネ(伊香) 金沢祐
- 忠(植田) 鈴木伝司(真名畑)
- 穂積武夫(上石井) 石川正美
- (同) 男・23 女・10

酪農組合

今月は酪農組合事務所を訪ね
ました。

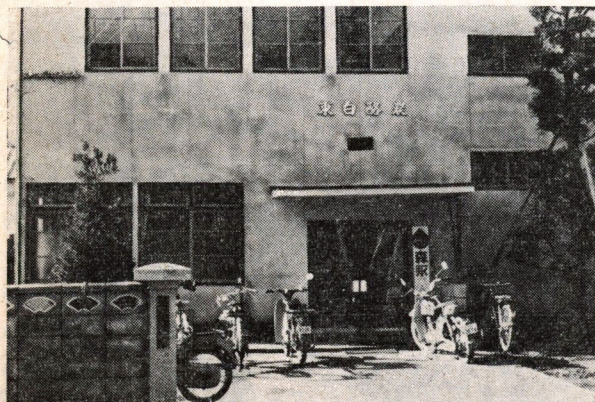
職場は総務・飼料・市乳・指
導の四部制で十二人。うち四人
が獣医さんで、もつぱら飼育者
廻り。飼料、市乳部はお金もう
けの方で忙しい。年間売り上げ
は、両部とも千二百万円となつ
ている。

ここの牛乳は、森永を取扱
つているが、製造が宮城県名取
市というの、案外消費者に知
られていないようだ。取扱量は
毎日三千本、郡内四十の店に卸
している。ひと口に市乳といつ
てもメーカーがいろいろあり、
市乳部では常に拡張との戦い。

組合員は、郡内に四百八十人
乳牛は八百七十頭で、生乳は毎
日十七石程度生産している。
年間予算は七千七百万円台で、
三十六年度も黒字決算となつて
いる。しかし、乳価の変動も激
しいので、組合の総合調整役総
務部も、また容易ではないよう
だ。

乳牛一色、だが間口は広い

写真は酪農組合事務所 きよ年
の10月に新築した



新年を祝う会

38年度の賀詞交歓会を次のとおりひらきます。
みんなそろつてご参加下さい。
とき 1月1日午前11時
ところ 埴町公民館
会費 150円
12月25日までに、公民館へ申し込んで下さい。



鈴木 晋氏

この新聞は、皆さんの新聞です。家中でお読み下さい。読んだ後は綴つておきましょう。

町に初の「母子年金」

鈴木スイさんら三遺族

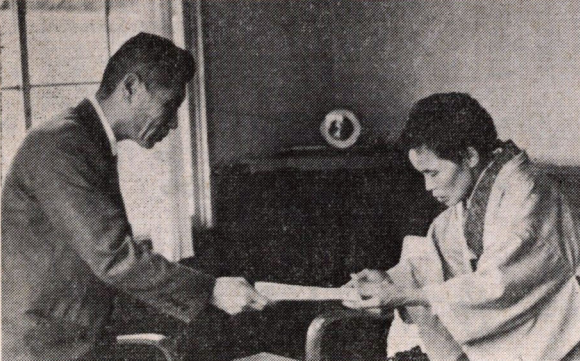
〇 拠出制国民年金は、ことしの五月から支給が始まりました
 〇 が、町では、木野反の鈴木マズさん(50)、片貝・八幡み
 〇 つのさん(53)、植田・菊池キクさん(50)ら三人の母子
 〇 家庭に、初の母子年金が支給されることになり、このほど
 〇 役場で証書が渡されました。

これらは、いずれも夫に死別

するといひ、予測もしない不幸
 に見舞われ、十八才未満の子ど
 もをかかえている人たちがばかり
 です。



町長から(上)を受ける
証書(左)を鈴木



おりました。ところが、突然の
 不幸となりましたが、免除に該
 当していたため母子福祉年金が
 支給されることになったわけで
 す。

民相互扶助による年金の受給者
 がでたわけです。
 県下でも数多くの母子、障害
 年金の該当者が続出しています
 が、反面保険料を滞納していた
 ために給付されない人も現われ
 ております。今後とも皆さんのこ
 理解と、関係者や保険料納付組
 織の長のかたがたのご協力によ
 り、不幸な方を出さないために
 も、この制度を大きく育てたい
 と思います。

税金は年内にどうぞ

〇〇 完納できない場合は
 〇〇 ご相談下さい 〇〇

スーパー・マーケット 英頭字でつくったもの。日本
 売り場に店員がいないので、には一九五二年支部がで
 お客が勝手に商品を運び、出た。
 口で計算する
 仕組みの店
 ライオン
 ス・クラブ 米国の有力な一マツハは音速(時速約千二
 百キロメートル)に等しく、
 実業家を会員とする奉仕団。
 自由・知性・自国民の安全の
 マツハ数という。

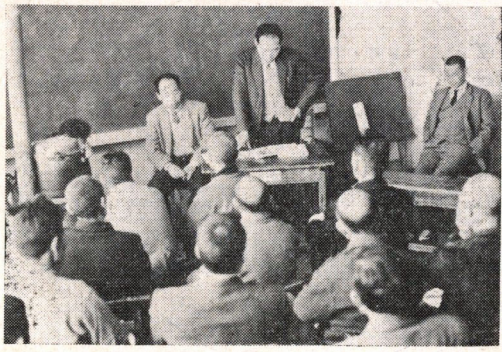
外來語豆辞典
 マツハ 航
 空機(の速度を
 はかる単位で

ことしも、きよ年に次
 ぐ連続八年の豊作
 を記録し、農家の皆さん初め、
 町民にとりましてもうれしいこ
 とです。
 さて、皆さんから納めていた
 だく税金も、四月の固定資産税
 を最初に、十二月まで毎月、い
 るるる税金の納期がでありまし
 たが、それも今月の町・県民税
 国民健康保険税第四期が最後と
 なりました。この最終納期を
 真近に控え、納税組合初め、納
 税者の皆さんには、その完納の
 準備においそがしいと思いま

滞納されている方は、是非とも
 今月中に完納されまよう特に
 お願いいたします。
 もし どうしても今月中
 に完納できない方
 は、納付の方法などについて、
 税務課とご相談下さい。
 役場から遠い矢塚、片貝、那
 健康保険税や、国
 民年金は、今月中
 に完納しませんが、来年の所得
 申告の際の控除として認められ
 ませんので、これも今月中には
 非完納して下さい。
 新年は、税金のどことおこな
 い、すっきりした気分を迎えま
 しょう。

ストーブ囲んで「話し合い」

田代で移動広報室開く



町の移動広報室は、第二次分
 として七会場で行なうことにな
 り、今月の五日、田代を皮切り
 に、話し合いと映画の会が
 始まりました。

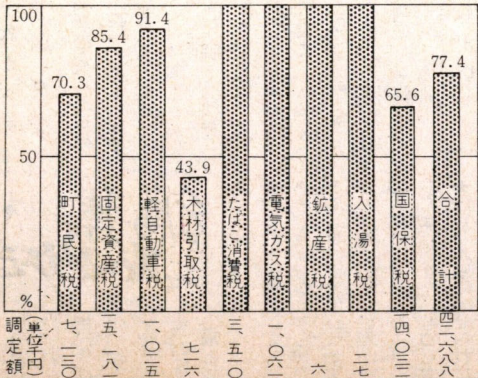
第二次のトップを切った田代
 会場は、今春できたばかりの明
 るい教室が開かれましたが、小
 雨降る中、およそ三十五人の人
 たちが集まりました。

菊池さんの場合
 は、夫が病弱で
 通院しており、
 医療費の支払い
 もあり保険料を
 納めることがで
 きないため、年
 金制度の一つで
 ある免除申請手
 続きを済ませて

今度の話し合いは、農閑期で
 もありますので、昼間とし、午
 後二時から五時頃まで約三時間
 ストーブを囲んで行なつており
 ます。
 田代部落は、不便な地域だけ

町税納付率図表

(37.11.30 現在)



農事だより

酪農講習生募集

希望者は1月21日まで

日本酪農講習所は、次の要領で第十七回受講生の募集をしております。受講を希望される方は昭和三十八年一月二十一日までに役場産業課農林係まで申し出て下さい。

◇場所 西白河郡矢吹町・日本酪農講習所

◇期間 昭和三十八年四月一日から昭和三十九年三月十五日までの一年間

◇資格 農業高校卒業者又はこれと同程度以上の学力あるもの、もしくは中学卒業後三年以上農業に従事した者

◇受講手続 講習科目、受講料等詳細については、農林係におたずね下さい

労力は大きく減る

だが問題はまだまだ多い

ことしの水稲直きまき栽培

のですが、一日、十時間以上働いても、なお間に合わないのが現状のようです。それから、田植えという作業を考えると、水の中での作業のつらさも、こまめに機械化の進んだ中では過酷です。それに、現在の田植え作業が消費しないかぎり、飛躍的な労働生産性向上が望めない。

これらの問題の中に、除草剤の進歩により、脚光を浴びてきたのが、直きまき、という技術

です。町でも、さきはこの欄で紹介しましたとおり、試行的に三方所で約二十アールほど行ないましたが、この結果をお伝えしましょう。

直きまきの方法

普通栽培と違うところは、この名のとおり、苗代を考えない

で、四月下旬から五月初旬に直接本田にたねをまきつける方法です。

まき方は、あらかじめ整地し乾いた田面に施肥播種機で三センチメートルのすじ播き(深さ一〜二センチメートル)とし、同時に施肥も行ない、一月後に灌水して、初めて水田の管理をしていくやり方で、除草は、適量に追肥主義とする。更に刈取機を使えば、より省力化が出来ます。その他のことについては、またまた問題は山積しております。(農林係)

これからの問題点は

直きまきの収量を、普通移植栽培にのみ上げ、しかも安定させる技術の確立を急ぐ必要があります。

★ことしも押しつらまりました。お互いに精いっぱい頑張ったこの一年を反省し、また、くる年の種としたいものです。

編集あとがき

どのくらい労力がはぶけたか

では、実際のどのくらい手間ははぶけたかをみるに別表のとおりです。すなわち、普通移植をしたところと比べて、35〜45%の省力ができたこととなります。

経済的な効果はどうだったか

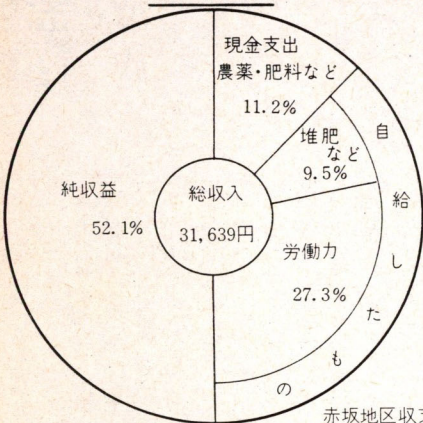
収量は、普通移植区を百とした場合、赤坂では85.6%、西河内では71.2%で、いずれも15%から30%減収したことになります。

総括的な収支をみると、図表のとおりほぼ同じで、特に労力が移植区にくらべて少なく、純収益がほぼ同じなのは、直きまき区の減収分は、省力でカバーした形になっていることが注目されます。

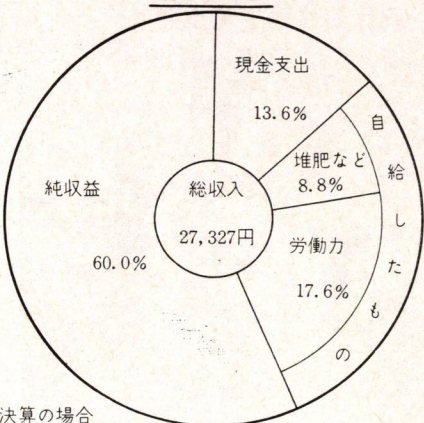
どのくらい省力できたか

項目	赤坂地区		西河内地区	
	移植	直まき	移植	直まき
所要労働数(単位・時間)	130.0	76.5	130.0	84.0
移植区を100とした比率(%)	100.0	55.4	100.0	64.6

移植区



直きまき区



赤坂地区収支決算の場合

耕うん機所有の皆さんへ

最近、耕うん機の普及はめざましく、去る4月現在の課税台数は245台で、前1年間に186台増えました。耕うん機を購入しますと、次のような届をしなければなりません
①陸運局への登録=軽自動車としての登録をしないと、道路を走ることができません。
②軽自動車税の申告=所有の日から10日以内に町長に申告しなければなりません。耕うん機を購入した方は、この両方の手続きが必要です。もし

この届をしないと罰則が適用され、万一、交通事故などにあつた場合は、非常に不利になります。
また、ことし購入し、税金が課税されていませんと、農業所得の必要経費として控除(差し引く)されないこともありますから、まだ登録・申告のしていない方は早く手続きをして下さい。これは、耕うん機以外の軽自動車についても同じです。(税務課)

おねがい、農事についての意見、ご希望をお寄せ下さい。締切りは特に定めません。

★今月は都合により、二十五日発行としました。

★恵まれない地に国の援助。いままでも放りおかれたのが、むしろふしきにさえ思われますが、とにかくこの暖かい光が、辺地の人たちに万々んなく当るようみんな祈りたいものです。

★毎号、本紙にのせられた写真で、ご希望のものがありましたら申し出て下さい。